

シリーズ Q 防犯

悪質な運転による犯罪被害をなくそう

悪質な運転による事件・事故の背景には、悲しい思いをする方々がいることを忘れてはいけません。今回は運転の犯罪の一例を紹介します。一人ひとりが運転ルールを守って、誰もが安全・安心に暮らせる町を目指しましょう。

■あおり運転は犯罪です！

次の運転は、あおり運転になります。

- ・危険な車間距離での接近、幅寄せ、急な加減速
- ・急な進路変更や蛇行運転、無理な追いつき
- ・不要な急ブレーキ、クラクションの反復
- ・ハイビームの執拗な継続 など



もし、あおり運転行為を受けた場合は：

- ①挑発に乗らない！
↓道路の左端によるなどして道路を譲りましょう。
- ②安全な場所に一時停止！
↓警察署やコンビニ、サービスエリアなどが多くいて、防犯カメラが設置されている場所へ避難しましょう。
- ③相手と交渉しない！
↓相手が車を止めて降りてきた場合、ドアはロックし、窓も閉めて、すぐに警察へ通報しましょう。

■飲酒運転は極めて悪質・危険な犯罪です！

飲酒時には、安全運転に必要な情報処理能力や注意力、判断力などが停止します。

- ・気が大きくなり速度超過などの危険な運転をする
- ・車間距離の判断を誤る など

絶対に飲酒運転をしない、させないために：

- ①一人ひとりが「ダメ、絶対！飲酒運転」という強い意志を持ちましょう。
- ②知人同士で飲食店へ行く場合は、互いの帰りの手袋を確認し、ハンドルキーパーを決めましょう。



問合せ 協働推進課

☎35-3412

シリーズ Q ゴみ

小規模事業者の可燃ごみの現状 -約3割が資源化できるごみや食品ロス-

ごみの減量化は、皆さんのご理解とご協力が必要です。ごみの減量化について、できることを考えてみませんか？
今回は、資源リサイクルセンターにおいて、小規模事業者がごみステーションに排出した可燃ごみの内容分析調査を実施しました。その結果をお知らせします。

総量約280キログラムのうち、次のとおり、「資源化できる紙類やプラスチック類」、食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が約3割という結果となりました。

調査結果

- 資源化できる紙類
↓約51キログラム(約18%)
- 資源化できるプラスチック類
↓約17キログラム(約6%)
- 食品ロス
↓約29キログラム(約10%)

ごみの減量化・資源化に取り組むことによって、環境負荷の低減や、ごみ処理に係るコスト削減を図ることができます。下記の内容を参考に、ごみの減量化・資源化にぜひご協力をお願いします。

【事業所におけるごみの減量化・資源化の実践例】

- ・使い捨て製品をできるだけ使わない、提供しないようにする。
- ・マイバッグの推奨や簡易包装に努める。
- ・紙製容器包装、プラスチック製容器包装は汚れを取り除き、分別して袋に入れ、資源ごみシールを貼って収集日に出す。
- ・新聞や雑誌、ダンボール、シュレッダーくずは古紙回収業者に直接持ち込んで資源化する。
- ・食材を有効に使いきる。
- ・食べ残しや売れ残りがないようにする。

問合せ 生活環境課

☎35-3138

